

飯島八幡神社のエノキ

飯島八幡神社にある樹齢 500 年以上といわれるエノキ (*Celtis sinensis*) は、古くから地元では神聖な木とされてきた。この落葉樹は、飯島をはじめとする近隣の集落の将来を占うものと信じられてきた。通常の年であれば、春になると枝に少しずつ芽が出てくるが、一斉に芽が出るのは、飯島に不幸が訪れる前兆とされている。秋になって、葉が少しずつ色づいて落ちてくれればそれでいい。一気に葉が落ちるのは雪が早く降る前兆とされ、一斉に紅葉が出てくると、飯島周辺の村々に災いが起こる可能性が高いとされている。